



読者の皆様へ

日頃より運輸安全 Journal をご愛読いただきまして誠に有り難うございます。

2020 年 4 月のこと。

未知の感染症により、世界が、すべての業界が、すべての年代が、影響を受けました。お客様も未知、当社にとっても未知、前例のない、知見のない世界がはじまり、それがいつ終わるのかもわからないという・・・。お会い出来なくなってしまったお客様とどうコミュニケーションを取るか？ 営業は訪問もできず、セミナーも開催できない。われわれは、何をもってお客様と繋がってゆくのか？ 不安な時がありました。

そんな中立ち上げたのが、本誌 “ 運輸安全 Journal ” でした。

以前は不定期でメールマガジンを発信しておりましたが、バックナンバーや記事の検索性が悪いことが課題でした。これを解消しつつ、何より、コロナ禍のなか、正確かつ迅速に情報をお届けすることで、お客様と密接につながりたいという想いのもと、半年ほどかけて制作しオープンしたのがちょうど 1 年前、10 月 26 日のことでした。

世界の交通安全、日本の交通安全、運輸業界の時事情報、行政、法令動向、商品プロモーション、セミナー告知等々・・・。中には、興味の無い記事だったり、失礼な、生意気な意見を表明したこともあったかと存じます。しかしながら、編集方針として、運輸業界への愛を胸に秘めつつも、過度に運輸業界に寄り添いすぎず、過度に悲観的な未来をあおることもせず、なるべく、世界の中の日本、日本の中の運輸業界、そして、自社も一企業、一市民であるという視点を欠かさず編集にあたってきたつもりです。同じ時代を生きている者同士、とでも言いましょうか。

さて、ちょうど 1 年たち、数えてみたところ約 500 の記事が掲載されております。この度、読まれた記事上位 100 をピックアップしてみました。当社の事業（飲酒運転根絶）の特徴が出てはいますが、一方で、この激動の 1 年の社会情勢をあらわしているようにも感じます。来し方 1 年、行く末 XX 年の参考にしてくださいませ。

2021.10.25

運輸安全 Journal 編集長 杉本哲也